

ひさかたの雨も降らぬか蓮葉に
溜まれる水の玉に似たる見む



江戸の植物画と現代活け花による

万葉の花

万葉いけばな研究家

庄司信洲 編著



春の野にすみれ摘みにと来し我そ
野をなつかしきみ一夜寝にける

一種

繪師の筆物即ち花の類をいふ
圖の花はさきと知らぬ



一種 かく 壽錦 陽春
胡蝶 観凍 新語
蛇蝶花

山中陰地より生ずる葉の錦帯花
つぎふ似て對生し花はきつ
まわやふ似て中の小花碧色周
の彩り白色なり日と経て楳
茶の色と帯ふ
此書及文皆コカク玉蜘蛛
ナリ 諸名用ニカラス

玉繡球 花層
麻葉粉團 遵生
碧繡球 八枝
常熱縣志より花小朵紫最族如
緋色白帯淺碧と云

あちさみの八重咲くごとく八つ代にを
いませ我が背子見つつ思はむ